

# 令和3年度(4年産)ビール大麦生育概況①

農業試験場研究開発部麦類研究室

調査日：令和3年12月20日

(調査基準日12月20日)

## 【播種期～年内の気象概況】

宇都宮市の平均気温は、11月(11月8日～30日)が平年より0.8℃高く、12月(12月1～19日)が平年より1.0℃高かった。降水量は、11月が平年比85.9%、12月が312.3%であった。日照時間は、11月が平年比127%、12月が106.6%であった。

## 【播種期～年内の生育概況 農試本場(宇都宮市)】

調査区は、11月8日(平年差+2日)に播種した。ニューサチホゴールドの出芽期は、11月17日(平年差+2日)で、出芽期までに9日間(平年差±0日)を要した。苗立ち数は、平年比101%であった。

12月20日現在、ニューサチホゴールドの草丈は平年比100%、茎数は平年比120%、葉齢は平年並み、葉色値(SPAD)は平年比108%で、生育量は平年より上回っている。サチホゴールドの草丈は平年比106%、茎数は平年比114%、葉齢は平年並、葉色値(SPAD)は平年比103%で、生育量は平年より上回っている。

## 【今後の気象動向(気象庁季節予報令和3年12月16日発表より引用)】

- 平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
- ・ 平均気温は、平年並または低い確率ともに40%
- ・ 降水量は、平年並または少ない確率ともに40%
- ・ 日照時間は、平年並または多い確率ともに40%

項目	地域	期間	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
気温	関東甲信地方	向こう1か月 12/18～01/17	40	40	20
		1週目 12/18～12/24	30	50	20
		2週目 12/25～12/31	50	30	20
		3～4週目 01/01～01/14	40	30	30
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 12/18～01/17	40	40	20
日照時間	関東甲信地方	向こう1か月 12/18～01/17	20	40	40

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

### <予報の対象期間>

1か月	: 12月18日(土) ~ 1月17日(月)
1週目	: 12月18日(土) ~ 12月24日(金)
2週目	: 12月25日(土) ~ 12月31日(金)
3～4週目	: 1月1日(土) ~ 1月14日(金)

## 【耕種概要等】

調査方法：ほ場調査(出芽期、苗立数、草丈、茎数、葉齢、葉色)

播種期：11月8日(前年11月6日・平年11月6日)

播種量等：条間22cmのドリル播、播種量226粒/m<sup>2</sup>設定

踏圧：12月14日

## 【調査結果】

農試本場(宇都宮市)における生育概況

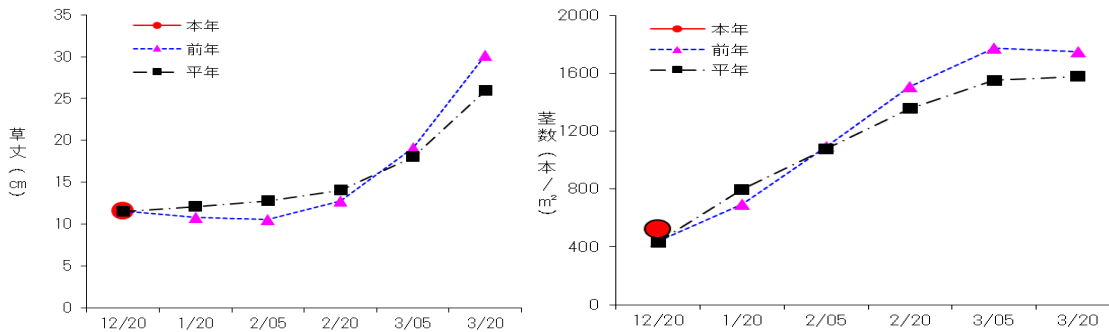
品種名	年度	播種期	出芽期	苗立数 本/m <sup>2</sup>	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	葉齢	葉色 SPAD	正規化植
									生指数 NDVI
ニューサチホ ゴールデン	本年	11/8	11/17	187	11.6	522	3.6	34.8	0.49
	前年	11/6	11/15	209	11.6	439	4.1	34.6	0.32
	比・差	+2	+2	90%	100%	119%	-0.6	101%	154%
	平年	11/6	11/15	185	11.5	434	3.6	32.3	0.36
比・差	+2	+2	101%	100%	120%	-0.0	108%	135%	
サチホ ゴールデン	本年	11/8	11/17	186	11.9	491	3.4	34.5	0.47
	前年	11/6	11/15	199	11.2	391	3.9	32.3	0.30
	比・差	+2	+2	93%	106%	126%	-0.4	107%	159%
	平年	11/6	11/15	184	11.2	432	3.6	33.6	0.37
比・差	+2	+2	101%	106%	114%	-0.1	103%	128%	
シュンライ	本年	11/8	11/18	246	8.5	415	3.0	39.2	0.42
	前年	11/6	11/18	248	7.9	285	3.0	42.0	0.26
	比・差	+2	±0	99%	108%	146%	-0.0	93%	165%
さとのそら	本年	11/8	11/17	181	11.7	399	3.4	41.3	0.44
	前年	11/6	11/18	181	11.9	426	3.7	40.9	0.27
	比・差	+2	-1	100%	98%	94%	-0.3	101%	164%

注) NDVI：植物体の近赤外域の反射率と赤の反射率から求められ、植生の量や生育の良否を指数化したもの

注) 小数点以下第2位を四捨五入してあり、実際の差と一致しない場合がある

※平年値：ニューサチホゴールデン及びサチホゴールデンは平成25～令和2年度(8年間)シュンライ、さとのそらは令和岩塩から調査を開始したため、平年値無し

## ○草丈、茎数の推移(ニューサチホゴールデン)

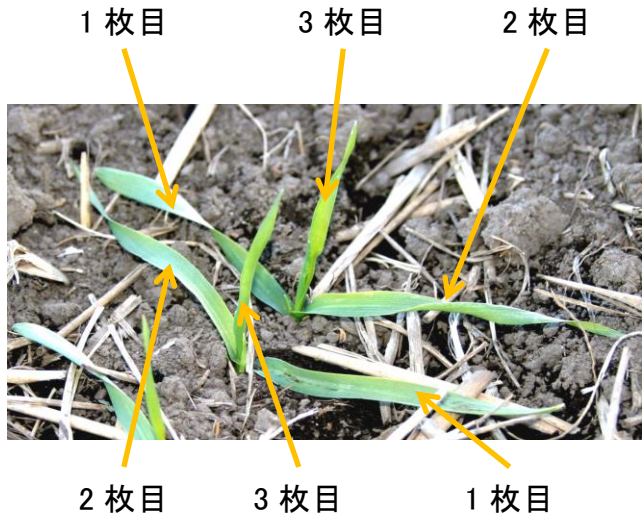


## 【今後の管理】

向こう1か月の降水量は平年並又は少なくなることが予想されるが、早期に明渠の整備を行う事が望ましい。整備のポイントとしては、①明渠の出口は排水溝に接続されていてきちんと排水されるか、②溝が土や泥等で埋まっていないか(埋まっていたらさらう)、である。ほ場周縁部に排水溝がない場合は、明渠を深く掘るなど確実に対策を行う。

このような排水対策の実施は、降雨・降雪後のほ場の乾燥を促すため、素早く踏圧を行うことが可能になる。

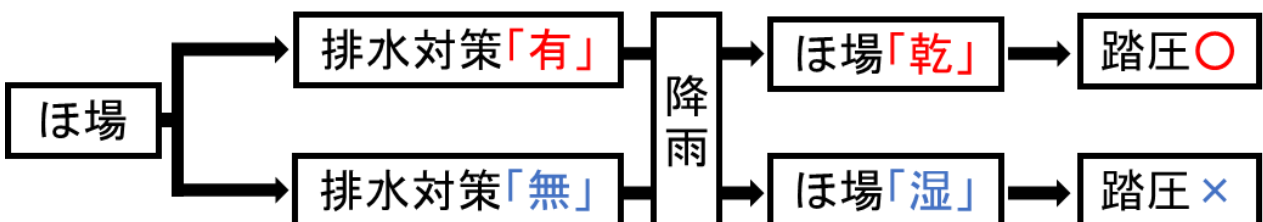
踏圧(麦踏み)は、2.5葉期(図参照)を過ぎた頃に1回目を行い、年内に1~2回行う。踏圧の効果は、“分けつを旺盛にする”、“根はりを良くする”や“霜柱による凍上害を防止する”等があり、麦類の良好な生育には必要不可欠の技術である。しかし、ほ場水分が高い状態で踏圧を行うと、土を固めてしまい、生育に悪影響を及ぼすことがある。そのため、踏圧はほ場の水分量に留意して行うことが重要である。



- 排水溝に接続されている明渠(上)
- 排水溝に接続されていない明渠(右上)  
雨が溜まってしまっている。
- 降雨後1日経って慌てて排水溝に接続している。  
(右)

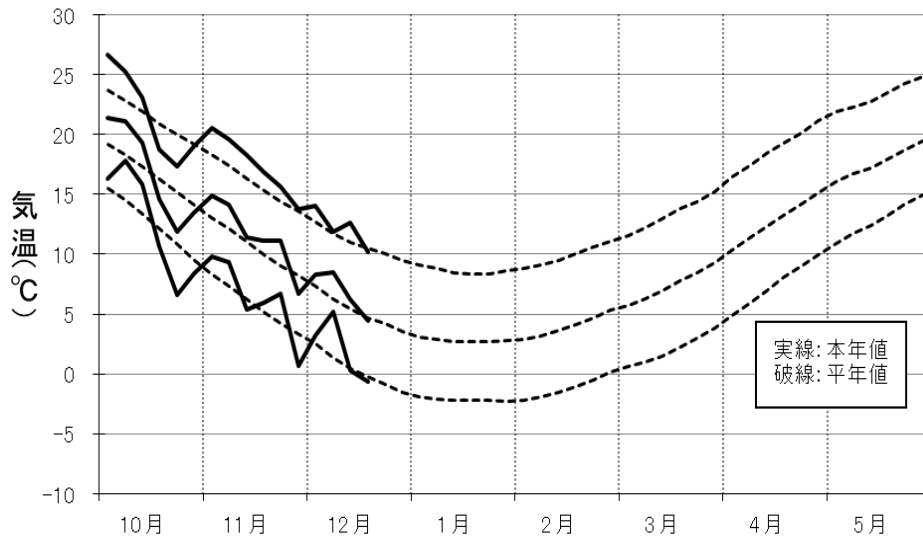


※適切な排水対策により、降雨後でもほ場が  
乾きやすく、早い時期に踏圧ができる。

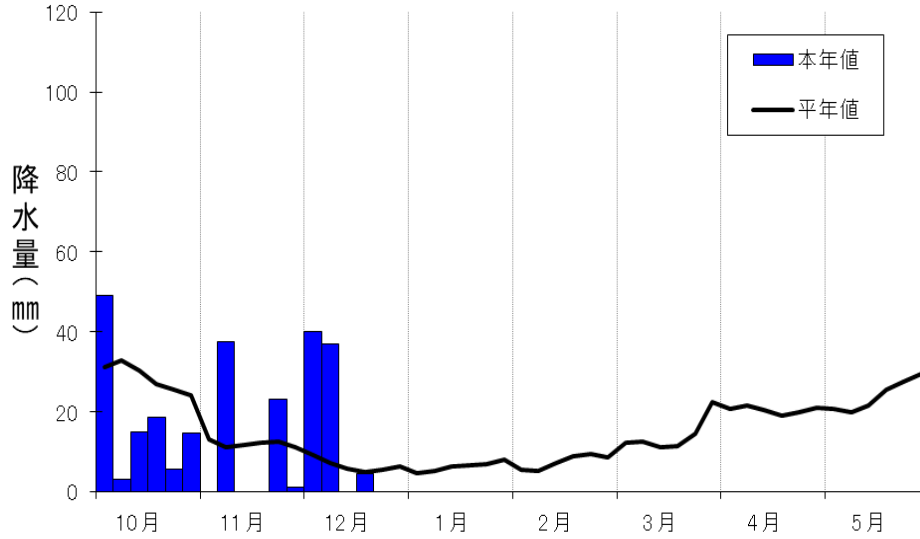


## 【気象概況】

半旬別平均気温の推移(観測地点:栃木県宇都宮市)



半旬別積算降水量の推移(観測地点:栃木県宇都宮市)



半旬別積算日照時間の推移(観測地点:栃木県宇都宮市)

